

愛・地球博理念継承・発展プロジェクト

モリゾー・キッコロ環境エクスカーショントータルシンポジウム

愛・地球博の理念継承・発展プロジェクトとして創立された「モリゾー・キッコロ環境エクスカーション」。夏休みに開催中の「うみ・まち・かわ・もりワークショップ」では、小学生が「藤前干潟」「堀川」「庄内川・矢田川～吉田川」「海上の森」という水脈でつながっている4カ所で実体験を通じて環境問題を学びました。

最後に行われるシンポジウムでは、このワークショップの報告会を軸に、スローフードの火付け役島村菜津さんの講演、また東海地方の「カンキョウ」の達人たちのディスカッションで、楽しく、スルドク、やさしく「カンキョウモンダイ」を考えます。

当日は、モリゾー・キッコロもシンポジウムに参加、聴講者とも交流します。

■期 日 平成18年10月1日（日）午後1時～4時半

■会 場 アスナルホール（アスナル金山）定員 360 人
〒460-0022 名古屋市中区金山 1-17-1 tel 052-321-5411

■対 象 小学生～一般成人

■聴講方法

- ・はがきかメールに、〒住所、氏名、電話番号、年齢（学年）を書き、9月20日（水）までに〒460-8511（住所不要）中日新聞社文化事業部「モリコロ環境シンポジウム」係（e-mail:moricoro@chunichi.co.jp）へ。
- ・一通につき2名まで応募可
- ・聴講券の発送をもって当選発表にかえます。

■個人情報の取り扱いについて

個人情報を取得する際に示した利用目的の範囲内で、業務の遂行上、必要な限りにおいて利用します。目的外で利用する場合は、本人に通知し、同意を得ます。また、取得した個人情報は、適切に管理し、個人情報保護法に定める例外事項を除き、本人の同意を得ることなく、第三者に提供、開示しません。

■主 催 モリゾー・キッコロ環境エクスカーション実行委員会
（財団法人2005年日本国際博覧会協会、愛知県、名古屋市、中日新聞社ほか）

■後 援 環境省 中部地方環境事務所、経済産業省 中部経済産業局、
環境パートナーシップ・CLUB、NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム

■連携協力 なごや環境大学

■問い合わせ 中日新聞社文化事業部内「環境エクスカーション事務局」担当：佐藤・岡本
〒460-8511 名古屋市中区三の丸 1-6-1
電話 052-201-3766（一般問合せ） 052-221-0729（関係者問合せ）
ホームページ=<http://www.chunichi.co.jp/morikoro/>

■内 容

第一部 講 演 島村菜津 (ノンフィクション作家)

日本のスローフード運動の火付け役が、海外・日本の伝統食、こどもの食育、そして環境全般について語ります。

第二部 「うみ・まち・かわ・もりワークショップ」報告会 【司会：矢野きよ実】

参加児童・講師が、矢野きよ実さんと一緒に映像をまじえて報告をします。
また、ワークショップを通じて考えた「カンキョウのためにできること」を参加児童が発表します。

- ・参加児童代表 各回3～4人
- ・ワークショップ各回講師
 - うみ編講師 辻 淳夫 (NPO 法人 藤前干潟を守る会 理事長)
 - まち編講師 渡辺 洋治 (名古屋堀川ライオンズクラブ会長)
 - かわ編講師 國村 恵子 (名古屋市水辺研究会代表)
 - もり編講師 曾我部行子 (海上の森の会)

第三部 パネルディスカッション「楽しいカンキョウモンダイ」

愛・地球博の前と後、カンキョウモンダイのなにが変わったのか？

「カンキョウ」の達人たちがスルドクやさしく斬る！

【パネリスト】

- 島村菜津 (ノンフィクション作家)
- 竹内恒夫 (名古屋大学大学院環境学研究科教授)
- 萩原喜之 (NPO法人 エコデザイン市民社会フォーラム代表)
- 矢野きよ実 (タレント)

飯尾歩 (中日新聞 論説委員) *コーディネーター

*当日の聴講者には、エコポイントが1点加算されます。